

第10回 たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会 が開催されました

テーマ：「倫理的な視点をふまえて～高齢者の自律／自己決定を支える～」

日時：2017年7月15日(土)14時00分～16時30分

場所：国立看護大学校 研修棟

参加：病院・訪問看護ステーション等の看護職・介護職の方々28名

概要：高齢者の自律，自己決定を支えるための、「倫理的な視点」について，原則を振り返りました。そのうえで，事例をもとに実際の現場での体験や工夫を共有し，展望を話し合いました。



①交流会代表 挨拶

国立看護大学校
飯野京子



②話題提供

「倫理って、実はとっても身近！」

救世軍清瀬病院
緩和ケア認定看護師 大石恵子氏

エンド・オブ・ライフ期に関連する「倫理」の原則や基本的な考え方をふまえてつづき、ご本人とご家族の意向，医療者の考えを照らし合わせ，最もよい方法を寄り添って考えることが大切です。



③話題提供

「高齢者の自律について考える」

国立療養所 多磨全生園
看護師 石田正子氏

高齢者の生活，人生，価値観，生き方を大切に，丁寧に話を聞いて対応すること，多職種で連携を工夫すること，そしてご本人が納得した人生を送れるよう支えることが重要です。



③グループで意見交換

小人数グループに分かれ，事例や日々のケアを振り返り，情報交換，意見交換を行いました。

- ・ 「その人がどういう人か」「その人の生活史」を理解し共有する
- ・ 「その人の言動」の裏にある，「その人の望み」を考察する
- ・ 毎日5分でもよいので，倫理のミニカンファレンスを開くなどといった工夫があることを共有しました。

参加者の感想（抜粋）

「倫理は難しいと思い込んでいたが，身近に感じると共に，日々スタッフ間で気持ちを出しあい，ジレンマを共有することが大切だと感じた」

「高齢者の自律・自立について改めて考え，知識を得ることができた。急性期，慢性期，緩和病棟，療養所など，それぞれの背景，患者の要望などの違いはあるが，話し合うことで，職場風土を変えていくことができるのではないかと思います。」



次回第11回交流会のご案内

日時：2017年9月30日(土) 14:00～16:30

場所：国立看護大学校 研修棟

テーマ：北多摩地区のアンケート調査結果により決定します。

内容：テーマについての話題提供と意見交換を行います。

詳細はホームページ <http://tama-elc.umin.ne.jp/> もご覧ください。

次回もお待ちしております。

たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会
救世軍清瀬病院

河端みのり・相良君映・大石恵子

国立看護大学校

飯野京子・綿貴成明・長岡波子